



山形県立鶴岡工業高(左)と黒沢尻工業高の試合

東北の頂点を目指して

第68回東北高等学校ラグビーフットボール大会

第68回東北高等学校ラグビーフットボール大会は6月15日から18日までの4日間、市ラグビー場で開かれ、各県2または3校が参加し、Ⅰ部・Ⅱ部各8チームによるトーナメント方式で競い合いました。本県は、Ⅰ部に出場した黒沢尻工業高が3位、Ⅱ部に出場した盛岡工業高が優勝、黒沢尻北高が準優勝と好成績を収め、熱戦に幕を閉じました。

8月には、県選抜チームで東北総合体育大会に臨み、えひめ国体出場を目指します。

手を上げてみぎひだり

保育所(園)や幼稚園、小中学校で交通安全教室

市内の保育所(園)や幼稚園、小中学校では、4月から園児、児童生徒を対象に交通安全教室を開催し、岩手警察署の署員や交通指導隊の隊員が指導に当たりました。最終日の6月14日には、森の子保育園で交通安全教室が行われ、園児46人が参加しました。

始めに「青になったら手を上げる」「右を見て、左を見て渡る」など、信号機の見方や横断歩道の渡り方を学習。その後、園庭に設置されたミニ信号機を見ながら横断歩道を渡り、交通マナーを学びました。



手を上げて横断歩道を渡る森の子保育園の園児たち

元気に大きく育ってね

安代小学校アユの稚魚を放流

アユの放流会は6月14日、南部馬淵川漁協(工藤篤組合長)が主催し、五日市橋付近で行われました。放流会には、安代小学校の1、2年生19人が参加。工藤組合長が「安比川は水がきれいアユが育ちやすい。これからもきれいにしましょう」と呼び掛けた後、児童は「大きくなってね」と声を掛け、アユの行方を見守りながら放流しました。

今回の放流会では、20*約1,300匹を放流。今年は安比川全体で、1,440*約14万匹を放流しました。



放流したアユの稚魚に手を振り見送る児童



畑で齊藤正樹さん(左)から定植の仕方を教わる児童たち

日本一のリンドウ学ぶ

安代りんどう生産者による^{はな}花育授業

田山小学校(工藤彰範校長、児童44人)は6月15日、リンドウ生産者の齊藤正樹さん＝日瀬通＝の作業小屋と畑で「安代りんどう」の花育授業を行いました。

総合学習の一環である花育授業は今年で6年目。参加した田山小4年生の児童7人は、齊藤さんからリンドウの品種やその特徴などの講義を受けた後、白い花をつける品種「サマースノー」の苗の定植を体験。八幡悠斗君は「足が埋まって大変だったけど、たくさん植える事ができて良かった」と目を輝かせました。



両市の山岳会でピッケル交換し、山開きを祝いました

みんなで登ろう八幡平

八幡平山開き

八幡平山開きは6月1日、岩手・秋田両県の山岳や観光関係者約100人が参加し、入山者の安全祈願とますますの観光客の来訪を祈念し、催されました。

同日は濃霧により、山頂で行う予定の八幡平市^{あすなろ}翌檜山岳会と鹿角市山岳会代表のピッケル交換は、山頂レストハウスで実施。翌檜山岳会の村上伸男代表は「今日は天候が悪く残念だったが、八幡平はさまざまな沼やきれいな高山植物を楽しめる山なので、たくさんの人に来てほしい」と呼びかけました。

百周年を祝う記念植樹

西根ライオンズクラブがヤマザクラを植樹

西根ライオンズクラブは6月21日、八幡平パノラマライン沿いで、ライオンズクラブ国際協会の創立100周年を記念して植樹を行いました。

当日は、雨や風が強い悪天候の中、会員約20名が参加。ヤマザクラ10本をスコップで丁寧に植え、丈夫に育つよう支柱を打ち、苗木と結び付けました。

丹内勇幸会長は「今後も会員皆で力を合わせ、植樹や清掃など、地域に貢献できる活動を続けていきたい」と力強く語りました。



雨が強く降る中、ヤマザクラの苗を植える会員

すなっぶギャラリー



サラダファームの食育体験で、東慈寺保育園の園児が、さつま苗を定植(6月19日、サラダファーム内圃場)



荒屋新町のガーデニング愛好者宅の庭園を巡りました(6月17日、あしるhana花フェスタ2017)



2017熔岩流まつり&第10回焼走り旧車ミーティングin八幡平(6月18日、岩手山焼走り国際交流村特設会場)



FCガンジュ岩手はサッカー教室を開き、約30人の園児と交流を深めました(6月12日、ひなざく幼稚園)



牛馬の安全を願う祭事「熊まつり」が行われ、馬の放牧が始まりました(6月3日、安比高原「中のまきば」)